

道徳と決まり（規則）との間の曖昧な事象をテーマに相手の考えを踏まえた文を書く。			
教案番号	09	対象	小学校中学年
分野	法理	タイトル	これって割り込み？
時間	3・4人で30分前後。5・6人で40分程度。		
指導概要	<p>①校庭の滑り台で遊びたくて並んでいたところ、自分より前に高学年の子が割り込んで来た。</p> <p>②「割り込まないで。」と注意したら「割り込みではなく、友達に順番をとっておいてもらっただけだ。」と反論された。</p> <p>③この行為が割り込みかどうかを考え、意見を出し合う。</p> <p>④自分と反対の意見も踏まえ自説を文章化する。</p>		

【1】授業の流れ

具体的活動内容	教材・教具
<p>1. 課題把握</p> <p>①街中などで行列を見かけたことがないかを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気ラーメン店の前の長い行列を見た。 ・スーパーの前で開店を待つ行列を見た。 ・病院の前でお年寄りが列を作っているのを見たことがある。 <p>②課題文を読み、場面を把握する。</p>	<p>プリント① 条件文</p>
<p>2. 意見交換</p> <p>①自分が割り込まれた側だったらどう言うかを発表する。</p> <p>②自分が割り込んだ側だったらどう言うかを発表する。</p> <p>③友達に順番をとっておいてもらう行為が「割り込み」に当たるかどうかを考え発表する。</p> <p>④解決策を考え発表する。</p>	<p>プリント② 課題文</p>
<p>3. 作文</p> <p>①話し合ったことを基にこの場面の解決案を文にまとめる。</p> <p>②作文に際し、意見が異なる他者の説について言及する。 言及の仕方として、「確かに～だが、～」という言い方を使うように勧める。</p>	<p>原稿用紙</p>

【2】次ページより教材例を提示（子ども用に続き、指導者用を掲載）

1 4年生の光くんは休み時間になったので、すべり台で遊ぼうと校庭に向かった。大人気の超ロングすべり台だったので、すでに何人かが並んでいた。光くんは7番目だったので、少し待てば休み時間内に遊べると思っていたが、そこに6年生が5人やってきた。そして、自分の前に並んでいた子を見つけると「ありがとう。」と言って5人が割り込んできた。

そこで、光くんは「割り込まないで。」と6年生に言いました。すると、「割り込みじゃないよ。ぼくたちは、友だちに順番をとっておいてもらったんだ。」と6年生に言い返されました。

さて、6年生の行為は「割り込み」に当たるでしょうか。



2 6年生の行為は「割り込み」に当たると思いませんか。

① 思う人は「友だちに頼んであっても割り込みと言える」理由を説明しなさい。

② 思わない人は「実際に列の間に割り込むのに、なぜ割り込みと思わないのか」の理由を説明しなさい。

③ まず主張（結論）を書き、→次に理由、→そしてその根拠となることや例を示す。→さらに、相手の意見をふまえた反論を書き、最後にもう一度主張（結論）をのべる順序で書いてみよう。

- 1 4年生の光くんは休み時間になったので、すべり台で遊ぼうと校庭に向かった。大人気の超ロングすべり台だったので、すでに何人かが並んでいた。光くんは7番目だったので、少し待てば休み時間内に遊べると思っていたが、そこに6年生が5人やってきた。そして、自分の前に並んでいた子を見つけると「ありがとう。」と言って5人が割り込んできた。
- そこで、光くんは「割り込まないで。」と6年生に言いました。すると、「割り込みじゃないよ。ぼくたちは、友だちに順番をとっておいてもらったんだ。」と6年生に言い返されました。
- さて、6年生の行為は「割り込み」に当たるでしょうか。



2 6年生の行為は「割り込み」に当たると思いますか。

① 思う人は「友だちに頼んであっても割り込みと言える」理由を説明しなさい。

② 思わない人は「実際に列の間に割り込むのに、なぜ割り込みと思わないのか」の理由を説明しなさい。

③ まず主張（結論）を書き、→次に理由、→そしてその根拠となることや例を示す。→さらに、相手の意見をふまえた反論を書き、最後にもう一度主張（結論）をのべる順序で書いてみよう。

割り込みだと判断するか否かの基準を指導者の質問によって明らかにさせる。

【多数派の意見例】

「どんな場合でも列に割り込んだことには変わらないから「割り込み」だ。」

★この意見に対し、思考を深めさせるため下記のような質問をする。

- ・もし、並んでいて途中でトイレに行きたくなり、列を離れるときに友達に順番をとっておいと頼んであった子が戻ってきた場合はどうか。

→それなら許す。最初に並んでいたんだから割り込みじゃない。

嘘かもしれないので許さない。

証人がいればいい。（証人が友達で嘘をついているかもしれないよ。）

【少数派の意見例】

「一人ぐらいだったらそんなに順番が狂うわけではないからいい。」

★この意見に対し、思考を深めさせるため下記のような質問をする。

- ・みんなが一人ずつ割り込ませたらどうなるかな。

→先頭から5人まではよいことにする。（割り込んでいい人数に制限はないの？）

- ・休み時間内に遊べなかった子が出たらかわいそうでしょう？

→そういう場合だけ割り込み禁止にすればいい。（遊べるかどうか分かるかな？）

→次の時間はその子から遊ぶことにしたらいい。（誰がそれを覚えておくのかな？）

- ・休み時間のチャイムと同時に滑り台に走っていくことになるが不公平ではないだろうか。代表者だけが並べばよいのなら、足の速い上級生だけが遊べるようになって不公平だ。

→人数制限をすればいい。

- ・もうすぐ自分の順番が来ると思って楽しみにしていた子の気持ちはどうだろうか。

- ・せっかく待っていたのに待っていた子がかわいそうでしょう。

- ・もし、休み時間内に遊べなかったら待つだけ無駄な時間になってしまう。

割り込みを認めない作文例

(主張) たとえ友達に頼んであったとしても割り込んだことになるので認められない。

(理由) そんなことを認めたら、足の速い上級生ばかりが滑り台で遊べることになるからだ。

(例示) たとえば、上級生が1人並んだ後に下級生が並んだとしても、その前に何人も割りこんだら休み時間中に自分の番まで回ってこない可能性がある。それでは不公平だ。

(反論) 確かに仲のいい友達のために順番を取ってあげるのは親切かもしれないが、他の子、特に下級生のことも考えなければいけない。

(結論) このような理由で、私はたとえ友達に頼んであったとしても割り込んだことになるので認められない。

割り込みを認める作文例

(主張) 最初から友達に頼んでおいたのだから割りこんでもよい。

(理由) たまたま通りかかった友達を割りこませるのは違い、最初から友達と約束をしてあったのだから問題ない。

(例示) 早く校庭に行きたくても、教室の黒板を消す当番だったりしてすぐに行けない子もいる。その子のために並んで順番を確保するのは悪いことではない。

(反論) 確かに大勢の友達の分を確保するのは、すでに並んでいた他の子のことを考えると可哀そうだ。しかし、割り込める人数を1人か2人と決めておけば大きく順番が遅くなることはない。

(結論) このような理由で、私は最初から友達に頼んであった1人か2人という条件付きで割りこんでもよいと思う。

時間があったら法律ではどうなっているかを話してやると面白い。

軽犯罪法第1条第13号では、下記の行為を違反として定めている。

「公共の場所において多数の人に対して著しく粗野若しくは乱暴な言動で迷惑をかけ、又は威勢を示して汽車、電車、乗合自動車、船舶その他の公共の乗物、演劇その他の催し若しくは割当物資の配給を待ち、若しくはこれらの乗物若しくは催しの切符を買い、若しくは割当物資の配給に関する証票を得るため待っている公衆の列に割り込み、若しくはその列を乱した者。」

構成要件を見ると不満を持つかもしれない。

①公共の場所であること。(これは納得)

②多数の人に対すること。(少数なら順番にあまり影響がないということなの?)

③著しく乱暴な言葉や威勢を示すこと。(そっと黙ってずる入りしても軽犯罪にならないの?)

④公共の乗り物の列、催し物の列、配給の列。(これ以外では軽犯罪にならないの?)

子ども達から見ても不満を感じるだろうが、

マナーを守らないずるい人は、誰かがそれを見ていて、その人が困ったときに誰も助けてくれない。

いつも割り込みをする人はお店から出入りを断られる可能性が高い。

全て法律で解決する世の中になってはいけない、マナーを守って解決できる世の中にしよう。

などと説明し、何でもかんでも法律問題化する人間にならないよう気をつけさせたい。